

## A brief introduction to the Japanese body psychotherapy Dohsa-hou and its application for student-athletes

### 日本の身体心理療法「動作法」の紹介とアスリート学生への適用

金子栄美 天理大学学生相談室  
神谷宣広 天理大学体育学部  
島中雄平 琉球大学人文社会学部

---

近年、からだところが強く結びついていることを詳述する多くの研究が発表されるようになった。動作法として知られる動作療法は元々日本で脳性マヒ者の機能訓練として開発されたボディサイコセラピーである。1960年代に成瀬を中心とした研究者並びに治療者は脳性マヒの子供たちの動作不自由を改善するために「動作訓練」と呼ばれる身体運動のトレーニングプログラムを開発した。動作訓練の実践と研究を続けるうちに成瀬は動作が心理に与える影響と動作訓練の心理的介入としての有効性を認識するようになった。そして、次第に動作法の治療者たちは身体的障害を持つクライアントから心理的問題を持つクライアントへと動作法の適用を広げていった。さらに、最近では動作法をアスリート学生に適用することで、来談率が低いことで知られている彼らの学生相談室利用を増加させたという報告もある。本論文では動作法を海外の援助者に紹介するために歴史と理論並びに動作法のアスリートへの適用について述べた。

**キーワード:** 動作法, ボディサイコセラピー, アスリート学生, 学生相談室, 体験治療論

---